



# 元気モリモリ!!! 通信

## 2015年初秋号

もり やま ひろ ゆき  
**森山 浩行**

元 衆議院議員  
民主党大阪府第16区総支部  
(堺市 堺区・北区・東区)

### プロフィールご紹介

- 堺生まれ、堺育ちの44歳
- 妻・長男・次男と向陵西町在住
- 昭和46(1971)年4月8日  
金岡病院(北区)で生まれる
- 堺市立新金岡小学校(北区)入学  
錦西小学校(堺区)卒
- 堺市立月州中学校(堺区)卒  
＜水泳部＞
- 大阪府立三国丘高校卒  
＜柔道部・生徒会＞
- 明治大学法学部卒＜雄弁部＞  
※学生時代よりカンボジア・旧ユーゴスラビア・  
ロシア・阪神大震災などでボランティア活動
- 元 関西テレビ放送  
(営業企画部・報道部記者)
- 元 堺市議会議員(1期 1999～2003)
- 元 大阪府議会議員(1期 2003～2005)
- 工場研修(東区)
- 羽衣国際大学 元客員助教授
- 元衆議院議員(2009～2012)
- 芦屋大学元客員教授

### 民主党大阪府第16区総支部

- |      |      |          |
|------|------|----------|
| 総支部長 | 森山   | 浩行       |
| 副支部長 | 小郷   | 一        |
| 幹事長  | 大毛   | 十一郎(堺区)  |
| 幹事   | 藤原   | かずたけ(東区) |
| 幹事   | しのはら | 香(北区)    |
| 幹事   | 森山   | 百恵(北区)   |
| 幹事   | 水谷   | 一雄       |
| 幹事   | 藤田   | 幸志       |
| 幹事   | 高田   | 威        |

## 現実的な提案を

### ～希望的観測は、事態を悪化させる。

不審船や海賊船が再び増加している日本近海。私も現職時代、安全保障常任委員でした。我々が提案している「領域警備法案」は、自衛隊の現場で困っているいわゆる「グレーゾーン」に対応するものです。きちんと自らの手で火の粉を払いのける自衛隊の本来業務を遂行できるようにするため、すぐにでも成立させるべきと考えます。

一方、集団的自衛権については様々なレベルで法案内容を説明しきれていません。「合憲性や法的安定性」「現状認識」「必要性」「メリットとデメリットの比較」「リスク(危険性と危機管理)」「コスト(予算)」「線引きや限界」といった論点を、きちんと整理して仕切り直すべきと考えます。政治というのは反対意見があることを前提とした活動ですから、提案者が議論の土台をつくり、質問者とレベルの噛み合った議論をする責任感が必要です。

今回の集団的自衛権に関わる安保法制の国会審議において、質問者の再三にわたる指摘に対し、法案提案者は「戦場で戦闘に参加しても自衛隊や国民の『リスクは増大しない』」という非現実的な希望的観測を根拠に返答し続けています。「現状認識」をゴマカしているのだから話が進みません。

「これまで行かなかった戦場に、戦争の当事者として参加する」のだから、自衛隊はもちろん、「日本」と名のつくあらゆるものへの報復攻撃はリスクとして認識しなければなりません。たまたま被害が出ない可能性はあっても、被害を最小限にするための準備はしておかなければなりません。

日本人には「縁起でもないことを言うな」という言霊(コトダマ)信仰があり、最悪の事態を想定する危機管理政策が本当にやりにくい。—これは、私が学生時代からお世話になっている佐々淳行・元内閣安全保障室長の言葉です。安全保障という超現実的で国際的な課題を扱うに当たって希望的観測は禁物です。「備えあれば憂いなし」と言いますが、「リスクは増大しない」と言ってしまうと、被害を最小限にするための準備にとりかかってもできません。せめて「集団的自衛権を行使すれば、もちろん自衛隊にも国民にもリスクは増大します。それでも必要なので覚悟を決めてください。」という声明から議論を始めるべきでしょう。国民の80%が「説明が足りない」と言っています。もっと現実的な提案をする責任が、政権をあずかる与党にはあります。

この間の巷の議論を聞いていて思うのは、政治的な問題について「意見の違う相手を罵る」という文化があるということです。自分の気に入ることを強化する部分だけを「現実」と捉えやすいインターネットの情報発信や受信には問題が多いです。発信者の意見を鵜のみにしないリテラシー向上が急務です。

### 森山浩行事務所

〒590-0077 堺市堺区中瓦町1-4-25 熊田ビル3階  
TEL:072-233-8188 FAX:072-233-8185

Mail:office@h-moriyama.jp HP:http://h-moriyama.jp

Facebook:genki.mOrimOri

Twitter:@MORIYAMAhiro

日常の活動はFacebookにて発信中!

# 森山浩行 総支部長の 8月度活動報告



## 元気モリモリ!!!座談会

次回開催予定

●第138回

元気モリモリ!!!座談会

9月29日(火)19:00～

榎校区けやき会館

2階会議室

(堺区向陵西町 1-1-19)



## 21世紀政経フォーラムin堺

10月21日(水)

二木啓孝ジャーナリスト

講演会『国会の裏側～私の取材  
メモから～』

&懇親会



※この催しは  
政治資金規正法第8条の2に規定する  
政治資金パーティです。

※詳細は森山浩行事務所までお問  
い合わせください。

### 議論するということ

猛暑の今年、堺の街をてくてく歩きながら多くの皆さんのご意見を拝聴し、議論する中で感じたこと。言葉遣いが粗くてもいいや、という風潮に加え、「事実認定」と「意見」をごっちゃにした議論が割と平気で横行しているな、ということです。

森山浩行は「明治大学雄弁部」出身です。そこで叩き込まれた議論の基礎は「事実」と「意見」と「人格」を分けること。議論するにおいては当たり前の前提であるこのことが、政治の世界においてさえできていないことに危機感を抱いています。人間だから間違えることもある。でもきちんと議論を積み重ねておけば、どこまで戻ってやり直すべきかが明確に分かる。と考えています。

また、森山浩行は「関西テレビ報道部」の記者出身です。私が現場で記者を経験していた90年代はまだ「テレビや新聞(マスコミ)」が報道していることを社会が共有する空気がありました。正誤はともかく、一定の裏取り(根拠の確認)をしたニュースを「事実」として共有して、それをもとに様々な「意見」をたたかわせていたように思います。

ひるがえって、現在はどうでしょうか。

事実認定と意見に人格攻撃を混ぜた粗い議論が目立ちます。インターネットの技術革新で個人の発信力が向上し、多様な意見表明ができるようになったことは大変素晴らしいことです。

だからこそ、ひとりひとりが「議論の仕方」や事実認定と根拠、意見、人格を分けて考える丁寧な表現を心がけることが大事だなあ、と考え、こどもたちにも「頭ゴナシに叱らない」ことを自分にも課した夏休みでした。

### 街宣活動を行っています!

- 8月は以下の駅頭早朝配布を行いました○
- 5日(水)堺市駅、6日(木)白鷺駅、10日(月)浅香山駅、
  - 11日(火)湊駅、12日(水)三国ヶ丘駅-百舌鳥側、13日(木)
  - 萩原天神駅、14日(金)北花田駅、17日(月)堺東駅-西口、
  - 18日(火)新金岡駅、19日(水)堺東駅-北口、20日(木)
  - 百舌鳥駅、21日(金)三国ヶ丘駅-向陵側、25日(火)
  - 百舌鳥八幡駅、26日(水)安井町交差点、27日(木)北野田駅

元気モリモリ活動中!  
少しの時間でもお手伝い  
いただくと助かります。  
詳しくは事務所まで。



お問い合わせは  
森山浩行事務所まで  
TEL. 072-233-81

Twitter

@MORIYAMAhiro

facebook

<http://www.facebook.com/genki.mOrimOri>

森山浩行ホームページも是非ご覧ください。過去の活動報告書もご覧いただけます。<http://h-moriyama.jp/>

### 森山浩行へメッセージ

FAX返信: 072-233-8185

お名前 (フリガナ)	お誕生日	年	月	日
			年齢 ( )才	
ご住所 (〒 - )	Eメール			
[ 小学校区]	TEL/FAX			

※ 個人情報保護の観点より、ハガキではなくFAX 通信用紙の形式でお届けさせていただいています。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

.....

.....

.....